

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千四百十八號

昭和十八年六月十九日(土)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房經第六八六號

海軍工作廳長ハ女工員ニ對シ採用後三月間日額二十錢以內ノ初任手當ヲ支給スルコトヲ得

前項ノ期間滿了ノ際ハ初任手當相當額ノ臨時昇級ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ適用ヲ受ケザル女工員ニ付テハ本年六月二十一日臨時昇級ヲ爲スコトヲ得

本令施行ノ細目ニ關シテハ海軍省經理局長ヲシテ通牒セシム

本令ハ女工員ニ之ヲ準用ス

昭和十八年六月十五日

海 軍 大 臣

○ 通 牒

海人第二二八號

昭和十八年六月十五日

海軍省 人事局長

各 廳 長 殿

海軍辭令公報ニ關スル件通知

海軍士官(將官ヲ除ク)候補生及見習尉官ノ補職辭令ハ自今都合ニ依リ席次ノ順序ニ掲載セラレザルコト有之ベク候

經給第一一一號

昭和十八年六月十五日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

初任手當ノ支給ニ關スル件通牒

今般官房經第六八六號ヲ以テ女工員ニ對シ初任手當ヲ支給セラルルコトト相成候處之ガ取扱ハ左記ニ依ル義ト了知相成度

記

海軍公報(部内限) 第四千四百十八號

昭和十八年六月十九日

六二七

0489

- 一 初任手當ハ給料ノ一部トシテ取扱フモノトス
- 二 日額二十錢以内ノ初任手當ハ學歷、技能、年齢等ヲ考慮シ適宜差等ヲ附スルモノトス
- 三 初任手當ノ支給ヲ受ケザル女工員ニ對シテハ一人平均十三錢以内ヲ以テ學歷、技能、勤続年數、年齢等ヲ考慮ノ上適宜差等ヲ附シ臨時昇級ヲ行ヒ給料ノ是正ヲ行フモノトス
- 四 前號給料是正ノ爲ニスル臨時昇級ハ次期定期昇級期ニ於ケル昇級資格ヲ妨ゲザルモノトス

經賞第二〇〇號ノ一一

昭和十八年六月一日

海軍省經理局賜金國庫債券取扱官吏

各所轄長殿

支那事變賜金國庫債券再交付ニ關スル件
中改正ノ件照會

昭和十七年經賞第二〇〇號ノ九ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件（昭和十七年七月三日海軍公報（部内限）參照）中左記ノ通改正致候

記

追書ヲ削除シ別紙書式備考欄第三項ヲ第四項トシ左ノ一項ヲ加フ

- 三 受給者戰死ニ依リ所轄又ハ遺族ヨリ賜金國庫債券未受領ノ旨通知アリタルトキハ海軍省人事局長又ハ海軍人事部長ハ取扱官吏ニ對シ之ガ交付ノ濟否ヲ確メタル後左ノ區分ニ依リ所轄長ニ準ジ本手續ヲナスモノトス
- (一) 士官、候補生 海軍省人事局長
- (二) 特務士官以下 在籍海軍人事部長
- (三) 軍屬 所管、所屬ノ區分ニ依リ海軍省人事局長又ハ海軍人事部長

○ 辭 令

海軍少將 三 戸 壽

海軍武官任用委員ヲ命ス
海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス
海軍豫備學生採用試験委員長ヲ命ス
能率増進對策調査委員會委員ヲ命ス
海軍武功調査委員ヲ命ス
支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス
思想調査委員會委員ヲ命ス
献金運用委員會委員ヲ命ス

0490

同 中澤 佑

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス(以上十六日海軍省)

海軍海軍特務部
附海軍司政官

森岡 光義

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察官トシテ勤務スル者ニ指定ス(十六日海軍大臣)

海軍中佐 渡邊 安次

第二課勤務ヲ命ス(十六日海軍省軍務局)

海軍主計中尉 服部 誠太郎

第四海軍經理部サイパン出張所ニ要スル給與及其ノ

他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同 和田 力

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上十五日支出官海軍省經理局長)

同 石踊 幸雄

第二十九驅逐隊殘務整理ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命シ置キタル處之ヲ免ス(十五日同)

海軍主計中尉 石川 博司

日章丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍大佐 倉田 七郎

右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上一日同)

海軍主計少佐 村岡 達志

第一課勤務ヲ命ス(十六日海軍省經理局)

○ 雜 款

○司令驅逐艦復歸

第九驅逐隊司令ハ五月二十五日司令驅逐艦ヲ朝雲ニ復歸セリ

○正誤

六月十一日附公報(部内限)軍需第一三九號第四條製圖中「權造圖」ハ「構造圖」ノ誤

○本日普通公報發行セズ

海軍公報(部内限)第四千四百十八號 昭和十八年六月十九日

六二九

0491

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第四千四百十九號

昭和十八年六月二十一日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房需第一三六號

當分ノ間兵備品タル被服物品ノ繰替供給ニ關シ左ノ通
定ム

昭和十八年六月十八日

海 軍 大 臣

一 海軍軍需部ハ左ノ各號ニ依リ在庫ノ被服物品ヲ各
應通常物品ニ繰替供給スルコトヲ得

(一) 繰替供給シ得ル用途

通常物品トシテ軍屬及工員ニ供給スル被服

(二) 繰替供給シ得ル品種

事業服上衣袴、掃除服、防暑衣袴、略帽、脚絆、
外套、防寒被服、航空被服、雨衣、毛布、蒲團覆、
蚊帳、護膜底紺足袋、材料品

二 本號ニ依リ被服物品ノ繰替供給ヲ爲シタル場合ノ
取扱ニ關シテハ昭和六年官房第三三五六號中艦營

○通 牒

海人第一三一號

昭和十八年六月二十一日

海軍諸例
則登載

海軍省人事局長

關係各廳長殿

所在不明者名簿ニ關スル件申進

自今大東亞戰爭中所在不明者ノ報告ハ左記様式ニ依リ
調製送付(特務士官以下ニ在リテハ別ニ壹通ヲ在籍鎮
守府ノ海軍人事部長ニ送付)相成度
追テ電報ヲ以テ報告シタル場合モ成ル可ク速カニ右
ニ準ジ名簿送付ノコトニ取計ハレ度

海軍公報(部内限)第四千四百十九號 昭和十八年六月二十一日

六三一

0492

同	丸山孝治郎	上 十六日同
同	高橋大	内務技師 小池啓吉
同	瀧澤昇	海南警備府ヲ免ス (十六日同)
同	山田幸一	海軍中將 三輪茂義
同	白井正代	海軍武功調査委員ヲ命ス
同	山本努	海軍規格審議會議員ヲ命ス
同	西野慶五	海軍大佐 勝田治夫
同	山岡秀雄	海軍武功調査委員ヲ命ス
同	篠崎大輔	能率増進對策調査委員會委員ヲ命ス
同	佐々木幸助	同 大石保
同	内山保	能率増進對策調査委員會委員ヲ命ス
海軍施設本部補給部ニ配屬ス (十六日海軍省)		陸海軍石油委員會幹事ヲ命ス
(各通) 第三十設營隊配屬徵用員	三輪正次	造船委員會第一委員會委員 (幹事) ヲ命ス
同	山下亮一	船舶海難事故處理委員會委員ヲ命ス
大湊海軍建築部ニ配屬ス (十六日同)		同 濱田祐生
第二十四設營隊徵用員	竹内亘	能率増進對策調査委員會委員ヲ命ス
佐世保海軍建築部ニ配屬ス		軍港都市調査委員會副委員ヲ命ス
氣象技手	草野和夫	燃料政策調査委員會委員ヲ命ス
(各通) 同	伊藤玄一郎	陸海軍石油委員會幹事ヲ命ス
同	北村寛一	造船委員會第一委員會委員ヲ命ス
第三氣象隊附ヲ免シ水路部附氣象部附ヲ命ス (以		造船委員會第二委員會委員ヲ命ス

海軍公報(部内限) 第四千四百十九號 昭和十八年六月二十一日

六三三

0494

（各通）

海軍法務大佐 樋口 芳包
 同 由布 喜久雄
 海軍法務中佐 井崎 富之助
 同 飯田 信一
 海軍法務少佐 馬場 東作
 同 中島 武雄

昭和十八年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス

池廣 利夫
 海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

（各通）

川村 禾門
 小塚 時雄
 峰 重義
 小野 武雄
 金子 正三郎

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス（以上
 共同）

○ 雜 款

○ 試體問題發送
 第四十三期高等科經理術
 第八期高等科衣糧術

練習生採用試驗問題

（試驗施行期日）

自八月二日（月）
 至同 四日（水）

右六月一日左ノ通發送済

一 聯合試驗參加不可能ト認メラル、所轄ヘハ直送
 二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部長及各警備府副
 官宛送付

三 行動變更其ノ他ノ都合ニ依リ臨時必要ノ分トシテ
 若干部數各海軍人事部長各警備府副官及上海海軍特
 別陸戰隊副官宛送付シ置ケリ
 未着若ハ臨時必要ヲ生ジタル向ハ最寄ノ右諸官ヨリ受
 領スルカ又ハ直接本校ニ請求相成度

（海軍經理學校）

0495

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千四百二十號

昭和十八年六月二十二日(火)

海軍大臣官房

○通牒

兵備第一一六號

昭和十八年六月二十一日

海軍省兵備局長

海軍施設本部總務部長

各鎮守府、警備府參謀長殿

農耕地、立木等ニ關スル件申進

昭和十八年經物第七九號ノ趣旨ニ鑑ミ施設増備上首題ノ件極力浸蝕ヲ避クルハ申ス迄モナキ處已ムヲ得ズ取得ノ場合ハ工事實施上左記特ニ考慮ノ上處理相成度

記

一 農作物ハ工事順序等ヲ適切ナラシメ極力收穫ヲ助成スルコト

二 立木ノ伐採ヲ極限シ施設上積極的利用ヲ計ルコト

海軍公報

(部内限) 第四千四百二十號 昭和十八年六月二十二日

六三五

艦本機密第三號ノ七八七七

海軍蓄電池規格別冊ノ通改正ス

別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和十八年四月一日

海軍艦政本部長

(參照) 艦政秘法規類集三七五頁

艦本機密第三號ノ八〇二五

海軍蓄電池部分品檢査方法(別冊) 別冊ノ通制定ス

別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和十八年四月一日

海軍艦政本部長

艦本機密第三號ノ八〇二六

海軍蓄電池部分品檢査方法別冊ノ通改正ス

別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和十八年四月一日

海軍艦政本部長

0496

○ 辭 令

東京海軍通信隊附ヲ免ス（十五日）海軍省 通信書記補 飛鋪 辰二

鐵道官補 服部 邦雄
同 與村 忠勝
（各通）

海南警備府附ヲ免ス（三十一日）同

通信書記 山中 武久

事務員 田口 長次郎
同 井上 勘六
集配員 坂本 重雄
同 永野 太三
（各通）

第一海軍軍用郵便所員ヲ免ス（十六日）同

通信事務官 笹沼 由郎

第十五海軍軍用郵便所長ヲ命ス

通信書記 鎌田 猪之助

同 田中 朝一

同 池田 重雄

同 厚木 弥平次
（各通）

同 佐藤 金四郎
通信書記補 今野 重郎
同 大地山 正

第十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 吉成 光俊

同 田村 義廣

同 千田 茂

同 村田 喜三郎

同 増井 光雄

第十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス（以上十六日）同

通信書記 古澤 泰雄
同 島 影 義
（各通）

第六通信隊附ヲ免シ東京海軍通信隊附ヲ命ス

通信書記 石田 健一

同 岡崎 中造

東京海軍通信隊附ヲ免シ第六通信隊附ヲ命ス（以上十六日）同

○ 雜 款

○普通軍事教育圖書
昭和十八年四、五月中納庫セル普通軍事教育圖書左ノ如シ

(海軍文庫)					
圖 書 名	標記番號	類 別			
武士道全書 第十卷	海軍省教普第千六百九十五號	備品	和聲學	揭示教育用繪畫第一號	海軍省教普第七百三十七號
勳章法規の解説	海軍省教普第千七百三十八號	備品	揭示教育用繪畫第二號	(卯)	海軍省教普第千七百四十號
英和海事用語辭典	海軍省教普第千七百二十號	備品	揭示教育用繪畫第三號	(卯と農家)	海軍省教普第千七百四十二號
男爵大角岑生傳	海軍省教普第千七百五十九號	備品	揭示教育用繪畫第四號	(水仙)	海軍省教普第千七百四十三號
航空機整備基本作業教範	海軍省教普第千七百十九號	備品	揭示教育用繪畫第五號	(初冬の庭)	海軍省教普第千七百四十四號
支那事變 陸軍之部 第三十五卷	海軍省教普第千七百四十五號	備品	揭示教育用繪畫第六號	(静物)	海軍省教普第千七百四十五號
忠勇列傳	海軍省教普第千七百四十六號	備品	揭示教育用繪畫第七號	(静物)	海軍省教普第千七百四十六號
全譯 コール ユーブンゲン	海軍省教普第千七百四十七號	備品	揭示教育用繪畫第八號	(静物)	海軍省教普第千七百四十七號
武士道全書 第十一卷	海軍省教普第千六百九十六號	備品	揭示教育用繪畫第九號	(富士)	海軍省教普第千七百四十八號
大東亞 南方大觀	海軍省教普第千七百五十六號	貸與品	揭示教育用繪畫第十號	(奥入瀬溪流)	海軍省教普第千七百四十九號
續對支回願錄 (上、下)	海軍省教普第千七百六十三號	貸與品	揭示教育用繪畫第十一號	(熊野川)	海軍省教普第千七百五十號
作曲理論對位法	海軍省教普第七十四號	貸與品	揭示教育用繪畫第十二號	(無題)	海軍省教普第千七百五十一號
			揭示教育用繪畫第十三號	(鶯の午後)	海軍省教普第千七百五十二號
			揭示教育用繪畫第十四號	(少女)	海軍省教普第千七百五十三號

海軍公報(部内限) 第四千四百二十號 昭和十八年六月二十二日

六三七

0498

世界興廢太平洋戦争史五	海軍省教普	消耗品	愛知縣知多郡河和町 追濱海軍航空隊知多分遣隊
大戦史太平洋戦争史四	海軍省教普	消耗品	○開隊 女川防備隊ハ六月十五日開隊セリ
世界興廢太平洋戦争史四	海軍省教普	消耗品	○事務開始 第二八一海軍航空隊派遣隊ハ六月一日館山海軍航空隊 内ニ於テ事務ヲ開始セリ
自動車講義ノート （解答編共）	海軍省教普	消耗品	第十九防空隊ハ六月十五日横須賀海軍砲術學校内ニ於 テ事務開始セリ
トヨダ自動車取扱修理 法の護り（昭和十八年版）	海軍省教普	消耗品	第二十九防空隊ハ六月十五日横須賀海軍砲術學校氣付 海軍内田部隊事務所ニ於テ事務ヲ開始セリ
自動車掛圖（自一 至五九號）		消耗品	
野戦築城教範		消耗品	
書類發送方ノ件照會 内地臺灣間郵便物ハ其ノ遞送ニ二週間乃至二十日ヲ要 シ事務處理上支障不尠ニ付急ヲ要スル書類及公報類ハ 航空郵便又ハ急送扱トセラレ度 （高雄海軍航空隊）			
○赴任（轉勤）者旅行先 追濱海軍航空隊知多分遣隊ハ六月一日開隊ニ付同隊ヘ ノ轉勤者ハ直接左記ヘ旅行セシメラル、様取計ハレ度 追テ給與通牒ハ同隊資金前渡官吏宛ニ所要旅費ハ赴 任（轉勤轉乘）旅費トシ順路ハ本月十一日海軍公報 （部内限）參照セラレ度 記			

海軍公報

(部内限) 第四千四百三十一號

昭和十八年六月二十三日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房備機密第一九二號

雇員傭人ノ等級付與ニ關シ左ノ通定ム

昭和十八年六月二十二日

海軍大臣

内令
要登載

(限 内 部)

一 雇員長ハ雇員トシテ十年以上勤績セル者ニ就キ之ヲ銓衡スルモノトス但シ傭人ヨリ身分ヲ變更セル者ニ在リテハ傭人タリシ間ノ勤績年數ヲ通算スルコトヲ得

二 傭人ノ等級ハ左ノ資格ヲ有スル者ニ之ヲ付與スルモノトス

(イ) 傭人長

一 等傭人(一 等傭人ノ制ヲ設ケザル處ニ在リテハ傭人)ニシテ傭人ニ採用後勤績七年以上且人物技術共ニ優秀ナルモノ

(ロ) 二 等傭人

二 等傭人ニシテ傭人ニ採用後勤績三年以上且人物技術共ニ優秀ナルモノ

(ハ) 二 等傭人

傭人ニ採用セラレ海軍軍屬宣誓規則ニ依ル宣誓ヲ爲シタルモノ
前項中傭人長以外ノ等級ハ各處ノ實情ニ應ジ之ヲ付與セザルコトヲ得

三 守衛ハ第一號ノ勤績年數ノ規定ニ拘ラズ之ヲ守衛長ニ進級セシムルコトヲ得

專門學校卒業者又ハ之ト同程度以上ノ學力ヲ有スル者及海陸軍准士官以上出身者又ハ之ニ準ズル者ハ第一號及前號ノ規定ニ拘ラズ進級セシメ又ハ採用時適宜ノ等級ヲ付與スルコトヲ得

中等學校卒業者又ハ之ト同程度以上ノ檢定ニ合格シ若シ官公立養成所ノ課程ヲ修了セル者ニ對シテハ前號ノ進級資格中勤績年數ヲ二年以內減ズルコトヲ得
四 雇員傭人ノ等級ハ左ノ等級別保有員數以內ニ於テ

海軍公報(部内限) 第四千四百三十一號

昭和十八年六月二十三日

六三九

0500

之ヲ付與スルモノトス

(イ) 雇員長

雇員在籍員數二十人ニ付一人但シ守衛長ハ守衛五人ニ付一人

(ロ) 傭人長

傭人在籍員數三十人ニ付一人

(ハ) 一等傭人

二等傭人大凡五人ニ付一人

前項中在籍員數ハ毎年六月一日現在ニ付算定スルモノトシ之ニ依ルコトヲ得ザル應ニ在リテハ海軍省經理局長ニ協議スルモノトス

五、雇員傭人ノ使用員數少ク前號ノ規定ニ依ル雇員長及傭人長ノ制限員數ニ滿タザル應ニ對シテハ所屬長官ハ管下各廳ノ使用スル雇員傭人ノ總員數ニ對スル前號ノ制限以內ニ於テ適宜雇員長（守衛長ヲ除ク）及傭人長ノ保有員數ヲ配分スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

官房空機密第一一六三號

大東亞戰爭中兵備品會計官吏ハ外戰部隊ニ供用又ハ貸

與中ノ飛行長竝ニ整備長主管兵器ニシテ兵器經理規程別表第三號以外ノモノニ限リ毀損等ニ因リ引換供給ヲ爲ス場合ハ海軍兵備品會計規程第二十一條ニ依ル手續ヲ省略スルコトヲ得

昭和十八年六月二十二日

海軍大臣

○通牒

軍需糧第三〇號

昭和九年軍需糧第一四九號乾燥野菜冷凍野菜取扱方ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年六月十二日

海軍省軍需局長

（參照）昭和九年軍需糧第一四九號（海軍會計法規類集二卷二九八頁）

○辭令

海軍主計少佐 万袋 潔

海軍生待採用試驗常置委員ヲ命ス

海軍軍醫大佐 横倉 誠次郎

0501

(各通)

海軍軍醫中佐 北村 末藏
海軍軍醫少佐 只 埜 强

昭和十八年六月二十五日乃至七月八日施行ノ海軍兵
學校海軍機關學校及海軍經理學校生徒採用試験(身
體検査)臨時委員ヲ命ス(以上 海軍省)

(各通)

第二十三特別根據
地隊附海軍中尉 湯村 文男
第二十三特別根據
地隊附海軍中尉 濱田 金光
第二十三特別根據
地隊附海軍兵曹長 宮本 五郎
第二十三特別根據
地隊附海軍中尉 中川 相藏

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察
官トシテ勤務スル者ニ指定ス

(各通)

第二十三特別根據
地隊附海軍大尉 射延 行雄
第二十三特別根據
地隊附海軍中尉 柏田 明

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察
官トシテ勤務スル者ニ指定中ノ處指定ヲ解ク(以上
海軍大臣)

第二十三特別根據
地隊附海軍中佐 鵜澤 聰 衛
海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察
官トシテ勤務スル者ニ指定ス

第二十三特別根據
地隊參謀海軍中佐 黒木 照男
海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察
官トシテ勤務スル者ニ指定中ノ處指定ヲ解ク(以上
海軍省)

○ 雜 款

○事務所設置
第三十三號掃海艇艇裝具事務所ヲ六月二十日横濱市中
區綠町三菱重工業株式會社横濱船渠内ニ設置シ事務ヲ
開始セリ

○事務所撤去
第十設營隊(舊登川部隊)殘務整理事務所ヲ六月十八
日撤去セリ

○正誤
六月十六日附公報(部内限)通牒欄教育機密第一六八
號機雷術特技兵講習教程標準中(「假稱」ハ「術」操海
具「ハ」掃海具)ノ「防潜網」ハ「防潜網」ノ「救
求法」ハ「救急法」ノ誤モ誤

海軍大尉帆足 工六月十六日試験飛行中遭難殉職、
同十九日海軍航空技術廠ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬
儀執行セリ

海軍公報

(部内限) 第四千四百二十二號

昭和十八年六月二十四日(木)
海軍大臣官房

○令達

官房經第七〇三號

大正六年官房第一一五一號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十三日

海軍大臣

豐橋航空隊司令ノ次ニ左ノ各項ヲ加フ

洲ノ埼航空隊司令	六〇〇〇〇
詫間航空隊司令	六〇〇〇〇

(參照)

大正六年官房第一一五一號ハ司令長官以下ニ於テ要スル接
待費定額設定ノ件ナリ(會計法規類集一卷一三頁)

官房經第七〇五號

當分ノ間海軍給與令第三十四條第一項及第二項ノ規定
ニ依ル加俸ハ海軍給與令施行細則第四十條ノ規定ニ依
ル日額ノ三十日分ヲ以テ月額ト看做シ之ヲ支給ス但シ
加俸ヲ支給スベキ事由ノ期間一月ニ滿タザルトキハ此

海軍公報(部内限) 第四千四百二十二號 昭和十八年六月二十四日

六四三

○通牒

(參照)

昭和十六年官房機密第一二六三九號ハ職地ニ在ラザルモ特
別ノ命令ニ依リ對敵ノ行動ヲ取ル者ノ給與ニ關スル件ナリ

本令ハ昭和十八年五月二十五日以後ノ給與ニ付之ヲ適
用ス

附則

第一項第六號中「及特設航空基地隊」ヲ「特設航空
基地隊及特設防空隊」ニ改ム

海軍大臣

官房機密第三七五號
昭和十六年官房機密第一二六三九號中左ノ通改正ス
昭和十八年六月二十三日

海軍大臣

ノ限ニ在ラズ
本令ハ昭和十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十八年六月二十三日

0503

官房人機密第二八二號

昭和十八年六月二十二日

海軍省副官

各廳長殿

昭和十七年十一月一日調現役海軍特務士官及准士官名簿ノ電報符號使用開始期日ヲ七月十五日ト定メラレ候

軍務三機密第八四號

昭和十八年六月二十三日

海軍省軍務局長

各鎮守府參謀長
各警備府參謀長 殿

機關附屬物整理ニ關スル件申進

昭和十八年達第十三號改正及官房艦第四五號令達ニ基ク首題ノ件左記ニ依リ實施方取計相成度

記

一 所屬艦船ノ機關附屬物目錄ノ訂正ハ成ルベク速ニ之ヲ實施ス

二 目錄變更ノ結果生ジタル定數過剩ノ品ハ時期ヲ得次第之ヲ同收シ昭和十八年官房艦第四五號ニ依リ處理ス

三 既成艦船ニ對シテハ標準改正ニ依ル不足品ノ補充ハ特ニ定メラルモノヲ除クノ外之ヲ行ハザルヲ立前トス

四 艦毎ニ整理終了ノ都度共通豫備品、共通要具及修理用材料トシテ整理保管セル品名及數量ヲ海軍艦政本部長ニ通知ス

海人第一一號ノ二四六

昭和十八年六月二十三日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

戰歿者遺品送付ニ關スル件通牒

戰歿士官及本省關係戰歿軍屬ノ遺留品交付ニ關スル事務ハ自今人事局第二課（軍人援護室）ニ於テ取扱フコトト相成候條右該當者遺族ニ遺留品ヲ交付セントスル場合ハ當局第二課長宛送付相成度

○ 辭 令

臺灣總督府地方警視 小松 延秀
海南警備府附ヲ免ス（十五日海軍省）

0504

(各通) 八拾五圓 龜田 重雄
七拾五圓 宮本 輝雄

軍令部事務囑託ヲ解キ第三艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス(特許令)

但シ報酬月額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(大正軍令部)

軍令部員海軍少佐 山口 史郎
第一部第一課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍大尉 川瀬 治郎吉
第四部第十課勤務ヲ命ス(以上大正軍令部同)

海軍少佐 山口 史郎
參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス

海軍大尉 川瀬 治郎吉
通信部第十課勤務ヲ命ス(以上大正大本營海軍部同)

海軍中佐 渡邊 安次
第二課勤務ヲ命ス(大正海軍省軍務局同)

海軍大尉 石井 惣六
第二課勤務ヲ命ス(大正海軍省兵備局同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第一驅逐隊司令ハ六月十一日司令驅逐艦ヲ神風ニ變更セリ

○試驗問題發送

第七十二期高等科電信術練習生
第三期高等科暗號術練習生
第一期高等科電測術練習生
第一期普通科電測術練習生
採用試驗問題

右六月十日左ノ通發送致候

一 單獨試驗施行ノ分 直接各部宛
一 聯合試驗參加各部用 各鎮人事部長宛
一 應急出動艦船用 (橫須賀海軍通信學校)

第五期高等科 工作術練習生採用試驗問題
第四期專修科

右六月十一日左ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至急通知相成度

一 單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送
一 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事第一課長、馬公警備府參謀長、鎮海警備府參謀長宛直送(聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動其ノ他ノ理由ニ依リ聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ若干ノ餘裕ヲ含ム)

(海軍工作學校)

海軍公報(部内限) 第四千四百二十二號 昭和十八年六月二十四日

六四五

0505

○失官

休職海軍技手 [redacted] ハ收賄罪ニ因リ懲役二年ニ、同
雜賀六次郎ハ同罪ニ因リ懲役六月ニ處スルノ裁判確定
シ孰モ六月十八日失官ト爲レリ

0506

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第四千四百二十三號

海軍大臣官房

昭和十八年六月二十五日(金)

○令達

官房人機密第二八八號

本年官房人機密第二〇三號ニ依リ昭和十八(會計)年度ニ於テ實施スベキ見張員臨時講習員數及講習時期等左ノ通定ム

昭和十八年六月二十三日

海軍大臣

講習期間	講習員數					講習開始時期
	計	鎮守府	鎮守府	佐世保府	吳鎮守府	
約二月	二〇〇	二〇	五二	五八	七〇	昭和十八年七月中旬
同上	二〇〇	二〇	五二	五八	七〇	昭和十八年九月中旬
同上	二〇〇	二〇	五二	五八	七〇	昭和十八年十一月中旬
同上	二〇〇	二〇	五二	五八	七〇	昭和十八年一月中旬

備考 主トシテ防空隊、特陸及航空隊關係見張員ニ充ツベキ者トス

官房經機密第三八一號

當分ノ間基礎教育中ノ二等兵タル補充兵及國民兵ノ給與ニ關シ左ノ通定ム

昭和十八年六月二十四日

海軍大臣

- 一 在勤加俸
- 朝鮮、臺灣、關東州、樺太又ハ北海道ニ在ル部隊ニ配員中ノ者ニ支給スル在勤加俸ハ左ニ依ル
- (一) 北緯三十七度以北ノ朝鮮、臺灣、關東州及樺太 日額 十二錢
- (二) 北緯三十七度以南ノ朝鮮 同 十錢
- (三) 北海道 同 四錢
- 第三號第一項ノ規定ニ該當スル者ニハ在勤加俸ハ之ヲ支給セズ
- 二 僻地在勤手當

海軍公報(部内限)第四千四百二十三號

昭和十八年六月二十五日

六四七

0507

昭和十四年官房第七三九號別表(以下別表ト稱ス)
ノ規定ニ拘ラズ左ニ依ル

(一) 別表特區ノ場所	日額 二十錢
(二) 小笠原諸島、別表一區ノ場所	同 十五錢
(三) 奄美大島、別表二區ノ場所	同 十錢
(四) 別表三區ノ場所	同 八錢
(五) 別表四區ノ場所	同 五錢

第三號第一項ノ規定ニ該當スル者ニハ僻地在勤手當
ハ之ヲ支給セズ

三 増 俸

戰地ニ在ル部隊ニ配員中ノ者ニ支給スル戰時増俸ハ
左ニ依ル

(一) 支那	日額 二十五錢
(二) 佛印及タイ	同 二十七錢
(三) 其ノ他ノ戰地	同 三十錢

四 旅 費

海兵團ヨリ教育ノ爲配員先ニ旅行スル場合ノ旅費ハ
海軍内國旅費規則第三十三條、海軍南洋群島關東州
滿洲旅費規則第十七條ノ二及海軍外國旅費規則第十

條本文ノ規定ニ依リ所要賞費ヲ標準トシ所轄長ノ定
ムル定額ニ依リ之ヲ支給ス

附 則

本令ハ昭和十八年六月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

官房人機密第二九六號

本年六月二十五日前ヨリ海軍運輸部職員タル者ハ特ニ
發令セラルルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ海軍運輸
本部ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ
昭和十八年六月二十五日

海 軍 大 臣

○ 通 牒

軍務一機密第五一七號

昭和十八年六月二十五日

海 軍 省 軍 務 局 長

各鎮守府
各警備府
各艦隊 參謀長殿

海軍運輸部ニ關スル件申進

今次特設海軍運輸部令改正セラレタル處改正ノ趣旨ハ

0508

運輸關係機關ヲ整備強化シ現下最モ緊要焦眉ノ問題タル運輸ノ躍進的振張ヲ圖ラントスルニ在ルヲ付關係各部ヲシテ本趣旨ニ鑑ミ從來ノ行懸リ等ニ捉ハルコトナク此ノ上共海軍運輸部ニ對シ全幅ノ支援指導ヲ爲サシメ以テ其ノ全能發揮ヲ期スル様指導方可然取計相成度

經給第一一五號

昭和十八年六月二十三日

昭和十八年六月二十三日

海軍省 經理局

關係各廳御中

爪哇島内鐵道旅客運賃ニ關スル件通知

海軍軍人軍屬ニシテ公務ヲ以テ爪哇島内ノ鐵道ニ依リ旅行ヲ爲ス者ノ旅客運賃ハ別紙昭和十七年陸輸運第九八號軍隊及軍需品運送取扱手續(拔萃)ニ依リ本年四月一日以降第百二海軍經理部ニ於テ一併後拂ヲ爲スコトト相成候ニ付各部ニ於テハ該鐵道賃及急行料ハ之ヲ支給セザルコトニ了知相成度

(別紙)

軍隊及軍需品運送取扱手續(昭和十七年陸輸運第九八號陸輸總局長通牒) 拔萃

第一章 鐵道軍用輸送券

第一條 軍隊及軍需品ノ鐵道輸送(船舶及自動車ヲ含ム)ニ對シテハ別紙鐵道軍用輸送券(以下輸送券ト略稱ス)ヲ使用スルモノトス、輸送券ハ甲、乙、丙ノ三片制トス、

(註) 輸送券ハ鐵道輸送司令部ニ於テ發行シ要項記入ノ上乘車部隊又ハ軍需品發送部隊ニ之ヲ交付シ受領部隊ハ要項記入ノ上驛長ニ提出スルモノトス

第二條 軍隊及軍需品ノ輸送ニ對シテハ輸送券ヲ以テ運送書類トシテ別ニ切符又ハ運送狀ハ發行セザルモノトス

第三條 輸送券ノ取扱方ハ左記ニ依ルモノトス

(1) 發驛ニ於ケル處理方

軍ヨリ本券ノ提出アリタルトキハ各片記載事項ヲ照合シ甲片及乙片備考欄ニ夫々所定運賃ヲ記入シ各片所定箇所ニ驛長署名ヲ爲シ左ニ依リ處理スルモノトス

(イ) 甲 片

輸送用トシテ車掌ニ交付シ車掌携行シ著驛ニ之ヲ引繼グモノトス

海軍公報(部内限) 第四千四百二十三號

昭和十八年六月二十五日

六四九

0509

(ロ) 乙片

輸送ノ證憑トシテ之ヲ軍ニ返付ス

(ハ) 丙片

軍隊輸送ノ場合ハ乗車券代用トシテ軍隊之ヲ携行ス

軍需品輸送ノ場合ハ著驛ニ於ケル引渡ノ證憑トシテ軍ニ之ヲ返付ス

軍ノ依頼アリタル場合ハ車掌之ヲ著驛ニ携行スルコトヲ得

(2) 著驛ニ於ケル處理方

(イ) 甲片 車掌ヨリ引繼ヲ受ケ相違無キコトヲ確認シ餘白ニ到著年月日記入ノ上丙片ト共ニ一句毎ニ之ヲ取纏メ陸輸總局審査課宛ニ送付スルコト

(ロ) 丙片

軍隊輸送ノ場合ハ出場ノ際之ヲ回收シ軍需品輸送ノ場合ハ甲片ト對照シ相違無キコトヲ確メタル後之ヲ回收シ荷物ノ引渡ヲ爲スコト

回收済丙片ハ到著年月日及引渡月日ヲ記入ノ上甲片ニ貼付シ陸輸總局審査課宛送付スルコト

(註)

軍ヨリ紛失其ノ他ノ理由ニ依リ丙片ノ提出ナク軍需品引渡ノ請求アリタル場合ハ驛長ハ荷受部隊責任者ノ署名捺印アル證憑ニ依リ引渡スルコトヲ得

第四條 輸送券提出ノ違無キ場合ノ處理方

軍隊及軍需品ノ鐵道輸送ハ輸送券ニ依ルヲ原則トスルモ緊急ニシテ輸送券提出ノ違無キ場合ハ左ニ依ル

(1) 驛長ハ青色貨物運送狀三通ヲ作製シ夫々「甲」「乙」「丙」及「輸送券代用」ナル文字ヲ欄外ニ明瞭ニ赤書シ軍隊又ハ軍需品輸送責任者ニ要項記入署名捺印ヲ要求シ輸送券ニ準ジ使用スルモノトス

右ノ場合各片ノ處理方ハ第三條ニ同ジ

(2) 軍ハ前號ノ場合連ニ輸送券ヲ發驛ニ提出スルモノトス

(3) (1)號ニ依ル取扱ヲ爲シタル後(2)號ニ依ル輸送券ノ提出アリタルトキ處理方ハ左記ニ依ル

(イ) 發驛ニ於ケル處理方

軍ヨリ本券ノ提出アリタルトキハ驛長ハ各片記載事項ヲ照合シ甲片及乙片備考欄ニ夫々所定運賃ヲ記入ノ上各片所定箇所ニ署名ヲ爲シ左ニ依

0510

リ處理スルモノトス 甲片 著驛ニ送付ス 乙片 輸送ノ證憑トシテ之ヲ軍ニ返付ス 丙片 甲片ト共ニ著驛ニ送付ス (ロ) 著驛ニ於ケル處理方 甲片丙片共夫々該當代用輸送券(青色貨物運送狀)ニ貼付シ第三條ノ(2)所定ノ處理ヲ爲スコト 第三章 單獨軍人軍屬ノ乘車 第八條 公務ヲ以テ旅行スル單獨軍人軍屬ニ對シテハ 第九條ニ依ル割引證引換ニ運賃及料金ヲ記入シタル後拂乘車券ヲ發行ス 收受シタル割引證ハ後拂乘車券報告片ニ添付シ一句毎ニ取纏メ之ヲ審査課宛送付スルモノトス (註) 公務乘車證ハ各獨立部隊ニ於テ之ヲ發行ス 第九條 割引證ノ様式左ノ如シ イ 割引證	
第 號 割引證	乘車等級 等

發行擔任者 職氏名印	發行月日 昭和 年 月 日	有効期間	區 間	者	用	使
				年氏 齡名	階 級	部隊名
				(歳)		

備考 本件ハ白色トス

第十條 割引證左側欄外ニ「要急」ト朱書シアルモノヲ收受シタルトキハ後拂乘車券ニ急行料金ヲモ記入スベシ此ノ場合ハ該券ヲ以テ急行券ヲ兼スルモノトス

第十一條 後拂乘車券ハ著驛ニ於テ回收ス

第四章

第十六條 軍人軍屬及軍需品運賃料金ハ後拂トス但シ託送手荷物運賃ハ無賃トス

海軍公報(部内限)第四千四百二十三號

昭和十八年六月二十五日

六五一

○ 辭 令

0511

箱根山丸一等機關士 針貝 康

囑託（部内限奏任官待遇）ヲ命シ報酬年額貳千六百四圓ヲ給ス（昭和十八年六月二十五日海軍省）

小杉 方也

海南警備府ニ於ケル業務囑託ヲ解ク（昭和十八年六月二十五日同）

（各通）

山内 豐保
橋 公監
山本 莊毅

ニューギニア民政府ニ於ケル事務囑託ヲ解ク（昭和十八年六月二十五日同）

第十一特別工作部業務囑託

參千四拾八圓

上田 數馬

（各通）

參千五百五拾貳圓

坂部 房雄

參千四拾八圓

小谷 鐵

自今報酬年額（各頭書ノ通）ヲ給ス（昭和十八年六月二十五日同）

井上 源一郎

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務囑託ヲ解ク（昭和十八年六月二十五日同）

（各通）

小田邊 稻作
碓井 春三

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務囑託ヲ解ク（昭和十八年六月二十五日同）

黒川 春雄

南西方面艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス（昭和十八年六月二十五日同）

高橋 雄三郎

海南警備府ニ於ケル業務囑託ヲ解ク（昭和十八年六月二十五日同）

吉田 幸平

南西方面艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス（昭和十八年六月二十五日同）

海軍航空技術廠支廠總務部兼兵器部

航空技術廠發著機部事務囑託

原 陸三

兼海軍航空技術廠支廠兵器部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

（各通）

岸田 梅司
鈴木 公一

海軍省事務ヲ囑託ス（以上昭和十八年六月二十五日同）

丹後 正雄

參千五百圓

0512

守山英雄

湯淺辛

大橋春吉

額田祭

鷗谷亮一

秦
鴻
四

海軍航空技術廠醫務部ニ於ケル業務囑託ヲ解キ海軍航空技術廠航空醫學部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額（各頭書ノ通）ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

東北帝國大學助教授
松田幸次郎

名古屋帝國大學助教授 杉浦謙三

吉川 春壽

海軍航空技術廠醫務部ニ於ケル業務囑託ヲ解キ海軍航空技術廠航空醫學部ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ贈與ス

國民精神文化研究所員 杉 靖三郎

海軍航空技術廠醫務部ニ於ケル研究業務囑託ヲ解キ

海軍航空技術廠航空醫學部ニ於ケル研究業務ヲ囑託

シ報酬年額八百圓ヲ贈與ス

勲

海軍航空技術廠ニ於ケル研究業務囑託ヲ解キ海軍航空技術廠航空醫學部ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額五百圓ヲ贈與ス

宣 宣 宣
本 本 本
...
聲 聲 聲

海軍航空技術廠醫務部ニ於ケル研究業務囑託ヲ解キ
海軍航空技術廠航空醫學部ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額五百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

長嶋留藏

海軍航空技術廠支廠製鋼部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

越野義郎

第六十一海軍航空廠ニ於ケル海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇

トス（以上
一四
日同）

通信書記 高井孝

海軍省事務ヲ囑託ス、(四月、同)

海軍公報 (部内限) 第四千四百二十三號 昭和十八年六月二十五日

六五三

（各通）

保健技師 久岡 龍一
教誨師 藤木 庚俊

第四艦隊ニ於ケル業務囑託ヲ解ク（十四日同）

藤島 秀俊

第八海軍建設部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス（二十五日同）

高木 正生

第八海軍建設部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

（各通）

千八百貳拾圓

千四百七拾圓

マカツサル研究所ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額（各頭書ノ通）ヲ給シ部内限奏任官待遇トス（以上二十五日同）

（各通）

谷川 浩

ト部 奎一

島崎 武

岩浅 義孝

境田 正宣

横山 敏夫

（各通）

坂崎 静馬
南西方面海軍民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

浅 一 眞

河野 克巳

田中 忠次

渡邊 常正

マカツサル研究所ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

（各通）

貳千七百七拾圓

貳千四百貳拾圓

マカツサル研究所ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額（各頭書ノ通）ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

（各通）

（各通）

中村 小二郎

有賀 益城

第八艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

佐藤 市郎

南西方面海軍民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

0514

阿部 顯

マカツサル研究所ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額貳千百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上一六〇月同)

海軍中將 阿部 嘉輔

海軍規格審議會議員ヲ命ス

能率増進對策調査委員會委員ヲ命ス

船舶海難事故處理委員會委員長ヲ命ス

海軍少將 有馬 馨

海軍生徒採用試驗常置委員ヲ命ス(以上一六〇月同)

遞信技師 齋藤 齊

海軍省事務ヲ囑託ス

拾參圓

通信書記 秋元 久藏

(各通)

拾圓

佐藤 英一

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金(各頭書ノ通)ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

南川 勝次

第八海軍軍需部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

小川 將男

第八海軍軍需部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

第十一海軍航空廠工員寄宿舍事務並

ニ工員養成所教務囑託

池田 尙康

兼總務部事務ヲ囑託ス

畑 敏男

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上一六〇月同)

海軍公報(部内限) 第四千四百二十三號

昭和十八年六月二十五日

六五五

0515

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千四百二十四號

海軍大臣官房

昭和十八年六月二十六日(土)

○通牒

航本機密第八九七五號

昭和十八年六月二十五日

海軍航空本部總務部長

第十一航空艦隊參謀長
各航空戰隊司令官
各航空隊司令官
各母艦、搭載艦々長
各航空技術廠長
各航空監督廠長

磁石發電機斷續器軸給油ニ關スル件申訂
正ノ件通知

昭和十八年五月十七日航本機密第六七七二號磁石發電機斷續器軸給油ニ關スル件照會申左記ノ通訂正セラレ候條了知相成度

記

『自今當分ノ間該部ニハ「マグネトグリース」ヲ充填シ「フェルト」含油片ハ撤去ノコト』トアルヲ『當分ノ間

該部ニ「マグネトグリース」ヲ塗布セル上「フェルト」含油片ニハ「グリース」ヲ充分滲透セシメ使用ノコト」トス

○辭令

臺灣總督府技師 橋本 梅治
海南警備府ニ於ケル氣象業務囑託ヲ解ク(附屬海軍省)

第三十四海軍軍用郵便所員ヲ免ス(六期同)
通信書記 宇津木清太郎

第三海軍軍用郵便所員ヲ免ス
通信書記 神田 三藏

(各通)
通信書記 山口 勘治郎
同 中田 實
通信書記補 畔 見 誠

第十三海軍軍用郵便所員ヲ命ス
同 山崎友一郎

海軍公報(部内限) 第四千四百二十四號

昭和十八年六月二十六日

六五七

0516

(各通)	事務員	大越 光男
同	同	境田 實
同	同	山内 吉之助
同	同	吉田 恒雄
第十三海軍軍用郵便所員ヲ命ス 但シ身分ノ取扱ハ雇員トス	遞信局書記	山田 外七
第十一海軍軍用郵便所員ヲ命ス	集配員	加藤 十四三
(各通)	同	小林 治雄
第四海軍軍用郵便所員ヲ命ス 但シ身分ノ取扱ハ雇員トス	遞信局書記	阿部 勇三郎
第五海軍軍用郵便所員ヲ命ス	通信書記	中 牧 一
第二十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス	事務員	織田 信二
第二十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス 但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上各同)	第四海軍建築部徴用員	前田 一雄
同	一宮 貞夫	
(各通)	同	野澤 盛満
同	飯塚 正雄	
同	張ヶ谷 壽雄	
特設海軍燃料廠補給部ニ配屬ス(各同)	海軍主計少將	紺野 逸彌
海軍武官任用委員ヲ命ス	海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(各同)	
海軍主計中尉	白石 國彦	
第六課勤務ヲ命ス(各同) 海軍省經理局		
○ 雜 款		
○事務所移轉	松山海軍航空基地隊(假稱)及愛媛海軍航空隊(假稱) 設立準備事務所ヲ六月十九日愛媛縣温泉郡生石村海軍 中村部隊内ニ移轉セリ	
○事務所撤去	伊號第七十九潜水艦裝具事務所ハ六月十八日撤去 セリ	
○取消	昭和十七年七月十日附公報(部内限) 辭令欄七四二頁 上段四行目「橋本梅治」ノ辭令ハ取消	

0517

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第四千四百二十五號

昭和十八年六月二十八日(月)
海軍大臣官房

○通牒

官房人機密第三〇六號

昭和十八年六月二十八日

海軍次官

關係各廳長殿

昭和十九年度戰時召集猶豫者調査報告ニ
關スル件通牒

出師準備規程第九十八條ノ規定ニ依ル首題ノ件ハ昭和
十七年官房機密第七八六號(内令提要卷一、六七
九頁參照)ニ依リ調査報告相成度爲念

官房備機密第一四五號ノ六

昭和十八年六月二十八日

海軍省副官

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

官房備機密第一四五號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關ス

海軍公報(部内限)第四千四百二十五號

昭和十八年六月二十八日

六五九

ル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附錄所在地區別符表(其ノ一)中ニ「新知島ウ壹貳
七」ヲ加フ

同 部隊區別符表(其ノ一)中ニ「第四十一航空廠
ウ八四」「第一百九航空基地ウ九貳」「第十九防空隊ウ
九四」「第二十防空隊ウ九五」「第二十九防空隊ウ九
七」「第三十防空隊ウ九八」「第六十六警備隊ウ九九」
「大湊海軍建築部工事場ウ貳五九」「第一防疫班ウ貳
六〇」「第五防空隊ウ貳六壹」ヲ加フ

同(其ノ四)中ニ「マカツサル研究所セ五五」ヲ加
フ

別表海軍軍用郵便所及同派出所一覽表中ニ「第二十五
海軍軍用郵便所第四派出所ワインガツブ」「第二十九
海軍軍用郵便所第一派出所ソロン」ヲ加フ

軍務一機密第五三一號

昭和十八年六月二十五日

0518

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

火工兵器検査勵行ノ件照會

火藥火工兵器貯藏検査規則第十條ノ規定ニ依リ毎年五月中ニ検査請求スベキ火工兵器中検査未済ノモノハ此ノ際検査勵行相成度

軍需第三一〇〇七號

昭和十八年六月二十五日

海軍省軍需局長

海軍省經理局長

關係廳長殿

衣糧費豫算整理手續ニ關スル件通牒

昭和十八年軍需糧第五二號衣糧費豫算整理手續ノ規定ニ依ル豫算ノ貸借整理ハ十八年度以降當分ノ間之ヲ行ハザルコトト致候

(參照) 海軍會計法規類集一卷二二八頁

教育機密第一八三號

昭和十八年六月二十六日

海軍省教育局長

各鎮守府參謀長
各艦隊參謀長
各警備府參謀長
各警備司令部參謀長
各警備支隊參謀長
各警備中隊參謀長
各警備小隊參謀長
各警備分隊參謀長
各警備班參謀長
各警備排參謀長
各警備連參謀長
各警備營參謀長
各警備旅參謀長
各警備師參謀長
各警備軍參謀長
各警備總參謀長

殿

海軍關係船乘員タル船長船員ノ教育指導

ニ關スル件申進

海上交通保護上ノ必須事項ニ關スル首題ノ件ハ夫々各部ニ於テ配屬船等ニ對シ銳意實施セラレツアルモ未ダ十分ニ徹底セザルヤニ認メラルル處之ガ實施ニ關シ左記ニ依リ一層之ガ徹底方可然取計相成度

記

一 船長等臨時講習

目下實施中(豫定)ノ諸講習(別紙第一參照)ニハ努メテ船長等關係者ヲ參加セシムルト共ニ必要ニ應ジ各部ニ於テ右ニ準ズル講習ヲ行フ

二 參考書ノ利用

海軍省教育局發行ノ參考書等(別紙第二參照)ニ基キ適宜准士官以上(又ハ下士官)ヲ船舶ニ派遣又ハ關係船員ヲ參集セシメ船員ニ對シ講述又ハ演練ス

0519

〔別紙二葉添〕

○辭令

(各通)
千六百九拾貳圓

待遇トス（三十九日海軍省）

ス
(一四
日月
同)

(各通)

待遇トス（六十三日同）

海軍大佐 東郷 實

[illegible]

海軍公報（部內限）第四千四百二十五號

昭和十八年六月二十八日

六六二

海軍大佐	加茂 亭佐	海軍中佐	平田 勉	同	菊池 善市郎	同	栗野 原仁志	同	跡部 保	同	鈴木 貞	同	鈴木 俊郎	同	奥 末廣	同	市吉 聖美	同	天谷 孝久	同	上杉 恒藏	同	江島 武夫	同	原田 榮治	同	中野 四郎	同	前川 萬衛	同	金崎 義忠	同	海軍少佐	葛西 清一	同	山本 秋里	同	武市 義雄	同	松岡 茂	同	海軍中佐	波木 居修一	海軍醫中佐	
海軍大佐	熊谷 三郎	同	奥山 晨一	同	松尾 正俊	同	佐藤 武夫	同	河野 左宙	同	大竹 邦彦	同	落合 時典	同	北川 立夫	同	羽田 春兔	同	堤 弘文	同	大根田 玄壽	同	吉川 裕爾	同	藤原 元典	同	押味 賢吾	同	堀 昌雄	同	前田 洲	同	海軍主計大佐	小澤 嘉藏	海軍技術大佐	榎方 楷三郎	同	竹中 康	同	高木 義照	同	松田 良雄			

(各通)

0521

0522

○事務引繼

在上海海軍監督官事務所資金前渡官吏六月十五日事務引繼ヲ了ス

前任

海軍主計中佐 勢本 富三

後任

海軍主計少佐 前川 外治郎

○事務開始

第六十六警備隊ハ六月十五日横須賀第一海兵團久里濱兵舎内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○残務整理

第十一通信隊残務整理ハ第十一特別根據地隊内ニ於テ之ヲ行フ

○取消

五月三十一日附辭令欄五二六頁下段並行目「通信書記柴田 正」ノ辭令文ヲ取消

○正誤

六月十五日附公報(部内限)辭令欄六〇六頁下段十九行目「田崎正男」ノ辭令文「業務ヲ囑託」ハ「事務ヲ囑託」ニ、同六〇七頁上段十五行目ヨリ「岡本禹一」
「山田 正」「大庭秀一」「寺井隆一」ノ發令月日「六月十五日」ハ「六月一日」ノ孰モ誤

海軍中尉從七位本内達雄本月十六日飛行訓練中遭難殉職、同二十一大分海軍航空隊ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行セリ

0523

(別紙第一)

(昭和十八年六月二十八日海軍公報(部内限))

實施中ノ臨時講習			實施場所		
項目	時期	參加員數	實施場所	項目	時期
對船長戰時下必須事項	七、六 月、月 (約三、四 日間)	每 回 約五〇名	吳海兵團	對船長戰時下必須事項	七、六 月、月 (約三、四 日間)
對船員	七 月 上旬 (約五日間)	每 回(各防) 約三〇名—五〇名	舞鶴防備隊 吳海兵團	對船員	七 月 上旬 (約五日間)
海務院囑託タル船舶指導班ニ船舶指導能力附與	六 月、中 (二ヶ月)	船長級 一〇名 一運級 一〇名 船員(信號) 二〇名	海軍航海學校 (砲、雷、通校等)	海務院囑託タル船舶指導班ニ船舶指導能力附與	六 月、中 (二ヶ月)
潜水艦襲撃狀況ニ關スル船長第三次講習(目標艦便乗)	七、六 月、月 下旬、中 旬 (三日間)	每 回 約三〇名	海軍潜水學校	潜水艦襲撃狀況ニ關スル船長第三次講習(目標艦便乗)	七、六 月、月 下旬、中 旬 (三日間)
對船舶機關長等海上交通保護必須事項	七、六 月、月 下旬、中 旬 (二日間)	每 回 約三〇名	海軍航海學校 (豫定中ノモノ)	對船舶機關長等海上交通保護必須事項	七、六 月、月 下旬、中 旬 (二日間)

0524

(別紙第二)

對船舶船員參考書

(昭和十八年六月二十八日海軍公報(部内限))

一 教育參考資料

船舶應急參考書

(航運)第十二號

船長
運動見張
通信
參考書

二 教育參考資料(機雷)第七號

船舶ノ對潛水艦戰ニ關スル參考書

三 教育參考資料(機雷)第八號

船舶ノ爆雷戰ニ關スル參考書

四

特設艦船(武裝商船)射擊指揮參考書

五 教育彙報 砲第十六號

特設運送船(徵用船)武裝商船ノ機銃、小銃使用ニ關スル守則及射擊要領竝ニ兵器取扱ニ關スル參考書

六 教育參考資料(一般)第八號

船員ニ告グ

七 (海軍省教諭第一九二號)

(近ク配布豫定)

船長對潛自衛參考書

八 (海軍省教諭第一三〇號ノ四)

(近ク配布豫定)

潛水艦ノ攻撃ニ對スル參考事項

(備考) 雜誌「海運報國」掲載ノ船員教育資料ハ好參考資料ナリ

0525

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十八年六月二十八日(月)
海軍大臣官房

○ 雜 款

出征軍人軍屬及在支警察官並ニ其遺族等慰問金釀出明細表(四月份)
一金六千五拾圓四拾壹錢也

内 譯

應 名	金 額	應 名	金 額	應 名	金 額	應 名	金 額
海軍大臣官房	四九二〇	海軍省教育局	七三九〇	海軍施設本部	三〇二五〇	海軍水路部	三二二八〇
海軍省調査課	三六三〇	同 軍需局	九三六〇	海軍航空本部	一三三三〇	海軍技術研究所	四九三八〇
同 電信課	三六五〇	同 醫務局	三三三〇	海軍省南方政務部	一六四三〇	海軍大學校	一六四九〇
海軍文庫	六九〇	同 經理局	三三六〇	海軍運輸部	四七六〇	海軍軍醫學校	二七四八〇
海軍省軍務局	二九〇〇	同 法務局	三三六〇	海軍功績調查部	五〇二〇	橫須賀鎮守府軍法會議	二五四三〇
同 兵備局	一〇八三〇	軍 令 部	四〇五〇	東京海軍監督官事務所	三二八七〇	橫須賀海軍病院	二四七八〇
同 人事局	七〇八〇	海軍艦政本部	八九四〇	侍從武官府	一三三五〇	同 刑務所	一〇六五〇

海軍公報(部内限)號外

0526

海軍公報 (部内限) 號外

横須賀海軍港務部	五五三〇	第四十一海軍航空廠	五五三〇
吳海軍建築部	三五八〇	豐川海軍工廠	三九三〇
同 刑務所	八七〇	光海軍工廠	三八三六〇
佐世保鎮守府	六〇九四〇	大阪海軍監督官事務所	一三〇七〇
同 軍法會議	三三九〇	八幡同	三九三五〇
佐世保海軍人事部	九〇五〇	名古屋同	五九八五〇
同 病院	五三三〇	福岡同	二四八三〇
同 刑務所	一三三〇	廣島同	二四八八〇
大湊海軍工作部	一五五九〇	大阪海軍地方人	一三三八〇
嬉野海軍病院	三二八〇	同 警備府	四六五三〇
第三海軍燃料廠	一七三〇	大村海軍病院	一六〇八〇
第二海軍航空廠	一五四一〇		

昭和十八年五月三十一日

海軍省經理局

海軍主計少佐 兒玉 茂

0527

海軍公報

(部内限) 第四千四百二十六號

海軍大臣官房

昭和十八年六月二十九日(火)

○令 達

官房人機密第三〇四號

昭和十七年官房機密第一二七五號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十六日

海軍大臣

表採用資格ノ部中「掌機雷兵又ハ掌水雷兵」ヲ「掌機雷兵、掌水雷兵、掌水測兵、掌帆兵又ハ掌信號兵」ニ改ム

(参照) 昭和十七年九月七日本閣

官房備機密第一九四號

昭和十四年官房第五二五二號 昭和十六年官房第二五七〇號及昭和十六年官房第四八九一號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣

(参照) 昭和十四年官房第五二五二號ハ海軍工員ニシテ農業勞作ノ爲休業ヲ願出ツル者アルトキ許可ノ件(海軍諸例則卷三、五)

○通 牒

官房備機密第一九五號

昭和十八年六月二十八日

海軍次官

關係廳長殿

農繁期休業ノ取扱ニ關スル件申進

今般官房備機密第一九四號ヲ以テ徵用員徵用工員及工員ノ農繁期ニ於ケル休業許可ニ關スル規定ヲ廢止セラレ候處之ガ理由ハ現下戰局ノ要請ニ基キ農繁期休業ノ取扱ハ一般のニハ之ヲ爲サザルヲ適當ト認メラレタルモノニ有之特別ノ場合ハ左記ニ依ルコトニ定メラレ候

一 廳長ハ部下徵用員雇員傭人及工員中自家農業勞作

五六四ノ九二頁) 昭和十六年官房第二五七〇號ハ徵用工員ノ農繁期ニ於ケル休業ニ關スル件(海軍諸例則卷三、五六四ノ九三頁) 昭和十六年官房第四八九一號ハ徵用工員ノ農繁期ニ於ケル休業ニ關スル件(海軍諸例則卷二、三二〇ノ一〇頁)

海軍公報(部内限) 第四千四百二十六號

昭和十八年六月二十九日

六六五

0528

ノ爲農繁期ニ於テ休暇又ハ休業ヲ願出デタル場合共
ノ理由眞ニ己ムヲ得ザルモノト認ムルトキハ職務ニ
支障ナキ場合ニ限り所屬長官ノ認許ヲ得テ往返日數
ノ外十日以内ノ缺勤日數ニ算入セザル休暇又ハ休業
ヲ許可スルコトヲ得
二 廳長ハ毎年一月末日迄ニ前年中ニ於ケル許可狀況
ヲ所見ト共ニ海軍大臣ニ報告スルモノトス

兵備四機密第五八〇號

昭和十八年六月二十八日

内令提
要登載

海軍省兵備局長

關係各廳長殿

新規徵用者海陸軍ニ徵集又ハ召集中ノ取
扱ニ關スル件申進

新ニ部外ヨリ徵用セラレ入廠(部)シ未ダ官ト雇傭關
係ニ在ラザル雇員、傭人及工(鑛)員ニシテ徵用期間
中海陸軍ニ徵集又ハ召集セラレタル者徵用前ノ雇傭
主トノ雇傭關係ヲ解消シ徵集又ハ召集解除後復歸ヲ誓
約シ引續キ海軍ニ服務スルコトヲ志願スル場合ハ徵集
若ハ召集ニ基ク徵用解除ト同時ニ各共ノ身分ニ應ジ雇
員、傭人若ハ工(鑛)員トシテ採用ノ上本年官房經第

四三七號第一號ニ該當スルモノトシテ取扱フコトニ定
メラレ候

追テ

一 徵用前ノ雇傭主ト雇傭關係存續中ノ者ト
雖モ共ノ雇傭主ガ徵集若ハ召集中ノ給料補
給ヲ爲サザルコト明カナル場合ハ成ルベク
共ノ雇傭關係ヲ解消セシメ海軍ニ於テ給料
ノ補給ヲ爲シ得ル如ク指導相成度
二 昭和十六年艦本機密第一四號ノ五三二二
ハ自然消滅トス

艦本機密第三號ノ八四五二

昭和十八年六月二十八日

海軍艦政本部長

各艦隊參謀長
各工廠長各工作部長
各軍需部部長 殿

試製三式超短波受信機名稱變更ノ件通牒
首題兵器ハ左記ノ通名稱變更セラレ候

記

舊 名 稱	新 名 稱
試製三式超短波受信機	假稱電波探知機

0529

○ 辭 令

(各通) 海軍軍醫少佐 内山 彦九郎
海軍軍醫大尉 皆川 邦彦

昭和十八年六月二十五日乃至七月八日施行ノ海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒採用試験(身體検査) 臨時委員ヲ命ス

同 中村 義一

昭和十八年六月二十五日乃至七月八日施行ノ海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒採用試験(身體検査) 臨時委員ヲ免ス(三十九日 海軍省)

海軍主計大尉 副島 貞美
中華民國漢口方面ニ於ケル準備購入材料物品費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計大佐 大谷 茂
臨時資金前渡官吏ヲ免ス(以上三十九日 支出官 海軍省 經理局長)

○ 雜 款

○ 事務引繼

在中華民國漢口臨時資金前渡官吏六月二十五日事務引繼ヲ了ス

前任 海軍主計大佐 大谷 茂
後任 海軍主計大尉 副島 貞美

海軍公報(部内限) 第四千四百二十六號

昭和十八年六月二十九日

六六七

0530

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千四百二十七號

海軍大臣官房

昭和十八年六月三十日(水)

○通牒

海人機密第一號ノ二五九

昭和十八年六月三十日

海軍省人事局長

各鎮守府參謀長
關係各所轄長 殿

普通科各種練習生ノ選抜等ニ關スル件申進

本年官房人機密第二三九號ヲ以テ首題ノ件改正セラレ
候處本年申入校セシムベキ普通科各種練習生ノ選抜
採用等ニ關シテハ昭和十七年官房機密第一五六一號
別冊第三號(中二)ノ規定ニ拘ラズ特ニ左記ニ依ルコト
ニ定メラレ候

記

一 鎮守府司令長官ハ艦船部隊其ノ他各部ノ長ニ對ス
ル普通科各種練習生ノ選抜割當員數ノ通牒ハ之ヲ行
ハズ
二 艦船部隊其ノ他各部ノ長ハ適任者ニ就キ普通科各

○辭令

種練習生ヲ選抜シ所定期限迄ニ各在籍鎮守府司令長
官ニ報告ス但シ選抜表ハ調製ハ昭和十七年官房機密
第一五六一號第三號(ホニ依ル

海軍書記 千葉 房三

第一海軍經理部附ヲ命ス(六二四海軍省)

海軍主計大佐 松ノ谷 武生郎

能率増進對策調査委員會幹事ヲ命ス

海軍主計少佐 野村 實

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上六二四同)

海軍少佐 一ノ瀬 光清

第一課勤務ヲ命ス(六二五海軍省人事局)

海軍大佐 岩瀬 正巳

兼二浦海軍監督官事務所ニ要スル經費支拂ノ爲資金
前渡官吏ヲ命ス(七一四支出官 海軍省經理局長)

海軍公報(部内限) 第四千四百二十七號

昭和十八年六月三十日

六六九

0531

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第二十六潜水隊司令ハ六月二十四日司令潜水艦ヲ呂號
第六十七潜水艦ニ變更セリ

○旅費支給ノ件照會
本校ヘノ轉入者ニシテ旅費計算上往々品川驛ヲ終點ト
スル向有之候モ昭和七年十月一日經給第一〇四號經理
局長通牒ノ通起終點ハ東京驛ニ有之爲念
(海軍經理學校)

○事務開始
第二百十一設營隊事務所ヲ六月二十三日吳海兵團内板
橋部隊ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○正誤
六月十八日附公報（部内限）辭令欄中「海軍主計大尉
増田 昌」トアルハ「海軍主計大尉石川 誠」ノ、同
二十五日附公報（部内限）辭令欄六五四頁上段四行目
藤島秀俊ノ辭令文中「建築部」ハ「建設部」ノ孰モ誤